

萌黄 (もえぎ) 通信



みなさん、お元気ですか？

日中は、まだまだ、暑い日が続いていますが、朝、夕はかなり涼しくなってきました。寒暖差の激しい山梨では、朝方は、む

しろ寒いくらいです。最近では、タオルケットを2枚重ねて寝ている堀内貢次です。

日中も以前の猛暑よりはかなり落ち着いてきて、外の仕事も大分やりやすくなってきましたね。今月も頑張ってください

「下諏訪社で発見したさざれ石」

先日、長野県の諏訪湖周辺に仕事がありまして、その帰りに近くの下社秋宮へ寄ってきました。

御柱祭にゆかりのある神社で、入口を入ってすぐに根入りの御神木が見え、樹齢が800年と知り驚きです。その中を散策すると、おみくじ所近くに「さざれ石」を発見しま



した。国歌の「君が代」の中に出てくる、あのさざれ石です。確かによく見ると、緑色のコケまで薄らと生えているのが解かるかと思ひます。思わず、写真に収めてしまいました。



「サビ石の裏面からの吸上げ濡れ色現象の対処」

サビ石が敷いている歩経路に、写真のような濡れジミが発生しています。恐らく、石の裏側まで水が回っていて、乾燥しないために、石の表面に濡れ色として出てしまったようです。

まず、最初に、全体を洗浄し、その後に、プロパンバーナーで強制的に乾燥させます。乾燥後、すぐに濡れ色が戻るようですと、今回の施工は対応が難しくなってしまうのですが、1時間くらい経っても、元のように濡れ色になりにくかったので、全体をシミ抜き施工します。雨水に溶けたモルタルが濡れ色を作っているため、シミ抜きが必要になります。その後、プロパンバーナーで強制乾燥を行い、石が熱いうちに浸透性

のコーティング剤を塗布して浸透層をしっかりと作り、裏面からの水分が上がらないように処理していきます。



1. 御影石の裏面からの濡れジミ



2. 洗浄後に強制乾燥



3. 乾燥後に浸透石コート塗布



4. シミ抜き施工完了後

「モカクリームのカビ除去」

花壇の縁石にライムストーン(モカクリーム)が使用されていると、写真のように、かび汚れが石目に入り込んで取れなくなってしまいます。汚れが複合なので、水垢を除去してからのカビ抜きになります。奥深くに根を張ったカビ汚れは、一時間くらいかけて抜いていきます。



(編集後記) 最近、電卓やカードリーダー、カメラなど立て続けに壊れて困っています。急ぎの時に限ってこうなるので、ホームセンターの往復に大忙しです。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp